



世界へ
旅する
絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

2024 PROJECT REPORT

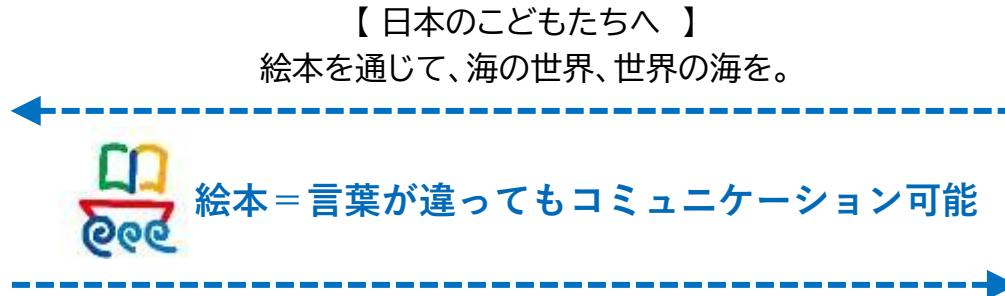
親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会

当プロジェクトの目的

「世界へ旅する絵本ボート」は
「絵本」を通じて、こどもたちの「世界の海」への興味を広げ
世界と協力して海を守ることの大切さを届けること



日本のかども



世界のかども

【世界のかどもたちへ】
絵本を通じて、石川県の海と海に対する子供たちの声を。

こどもたちと一緒に、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を世界中へ広げます。

2024年度プロジェクト概要



せかいの海のおはなし展
→図書館を飛び出して、
石川県内の小学生全員の手元へ



せかいの海のおはなし会
→2023年度の拡大エリアの保持



漂着モンスターワークショップ
→「せかいこども海会議」との統合型へ



漂着モンスター募集キャンペーン
&絵本制作
→絵本寄贈エリアの拡大



海外図書館へ絵本寄贈&展示
→世界との相互コミュニケーションを促進



広報活動
→県内告知の最大化



「能登半島地震の被災地応援」施策

REPORT 目次

- ①プロジェクト告知について
- ②せかいの海のおはなし展
- ③せかいの海のおはなし会
- ④漂着モンスターワークショップ
- ⑤漂着モンスター募集キャンペーン&絵本制作
- ⑥海外図書館へ絵本寄贈
- ⑦能登半島地震の被災地応援施策
- ⑧メディア露出
- ⑨その他の成果



①プロジェクト告知

①プロジェクト告知について

プロジェクトの県内認知獲得・活動実績により石川県教育委員会の後援をはじめ、県内すべての市町村の教育委員会の後援を獲得することができた。これにより、県内すべての小学校へのリーフレット配布が可能となり、プロジェクト告知の県内最大化を図ることができた。

●A3サイズ2つ折りリーフレット



石川県内小学校 202校：生徒53,461人 / 石川県内図書館 34か所 へ配布

①プロジェクト告知について

●キャンペーンポスター



●北國新聞でのキックオフ広告紙面



北國新聞購読者 約290,000部

●その他：協力図書館の広報誌/HPでのイベント紹介



石川県立図書館広報誌「マイプレイス」・HP

A vibrant underwater scene with schools of fish swimming in a blue ocean.

②せかいの海のおはなし展

②せかいの海のおはなし展

開催期間：2023年7月13日(土)～9月17日(火)

開催場所：石川県立図書館

金沢市立玉川こども図書館

金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館

七尾市立図書館

内容：世界とのつながりが感じられる海の絵本を選書し、
世界の海とのつながりを考えさせるコメントとともに展示紹介。

協力：石川県立図書館・金沢市立玉川こども図書館・金沢市立金沢海みらい図書館
小松市立空とこども絵本館・野々市市立学びの杜ののいち カレード・
かほく市立中央図書館・七尾市立図書館
石川子ども文庫連絡会

2024選書＆紹介

2024年度「せかいの海のおはなし展」では
新しく選書した絵本から定番の名作絵本まで計16冊選書し、
その絵本を紹介するコメントをつけて展示しました。

選書は、「石川子ども文庫連絡会」のほか、絵本専門士の協力を得て行いました。



うみがめぐり

作:かわさきしゅんいち
出版社:佐藤社



うみは、いのちをめぐらせている

ページをめぐると、タマゴのやまがあらわれます。実は、本当の大きさとほとんど同じです。こんなに小さなタマゴから、いのちが生まれ、また別のいのちに繋がっています。
いのちがめぐるのは、海の中だけではありません。わたしたちは、タコやマグロのいのちをおいしくいただきます。
それから、もう一度ウミガメの冒険をよく見てみましょう。陸の暮らしで見かけるものが、なぜだか海の中やまわりにあることもあります。



ゴミにすむ魚たち

文・写真:大塚 幸彦
出版社:講談社



ひとのくらしは、 うみに流れついている

海の底を調べてみると、見おぼえのあるものが転がっています。海に捨てたつむぎがなくても、陸と海は繋がっています。風にのって、川にはこぼれて、海に流れにくことがあります。
海の生き物たちは、受けいれるしかありません。いらないからといって、陸から届いた缶やびん、おかしの袋を、陸に返すこともできません。

魚たちは、海の中にいるのではなく、海の中で生きているのです。



うみのたからもの

作:たかお ゆうこ
出版社:講談社



貝がらが語るはなし

海辺を歩くと、形も大きさもさまざまな貝がらを見つけることができます。貝がらは、どうやってこの場所にたどり着いたのでしょうか。この砂浜で、どんな世界を見てきたのでしょうか。
作者のたかおゆうこさんは、たくさんの貝がらを見て、この絵本をつくりました。イギリスの海にも、いしかわの海にも、出かけていったそうです。貝がらは、遠く離れたところへも、はるか昔の時間へも、わたしたちを連れて行ってくれます。



ヨシ

3万7千キロをおよいだウミガメのはなし

作:リック・コクス 絵:リチャード・ジョンソン
翻:いわじょよしひと 出版社:あすなろ書房



ヨシがめざした、うみのさき

3万7千キロ先の場所を想像してみましょう。果てしなく遠い道のりです。しかし、ウミガメのヨシは、ケープタウンからオーストラリアまでの長い海の旅を成しとげました。
この物語は、実際の出来事にもとづいています。近くの海を泳いでいけば、世界の海と繋がっています。ヨシのようにけんめいに生きるたくさんの生き物たちが、世界の海に暮らしています。



くじらの ぶうぶう

作:はらまきかず 絵:山本久美子
出版社:イマジネーション・プラス



ともだちは、さかいをこえられる

くじらのぶうぶうは、普段の海では見かけない子と友だちになりました。やがて友だちのわは、どんどん広がっていきます。自分たちと違うものを受けいれ、ともに生きようとする海の生き物たちの心は、海と同じように広く感じられます。
一方で、陸からやってきた見知らぬ魚は、海のいのちを傷つけることもあるようです。
わたしたちは、海はどうやって友だちになりますか。



うみのむこうは

作・絵:主様太郎 出版社:福音館



うみのむこうを想像してごらん

主様太郎さんの「うみのむこうは」は、アメリカ、韓国、ポルトガル、ベトナムなど各国の言葉で翻訳され、出版されています。
どの国どの海でも「うみのむこう」を想像する気持ちちは同じなのかもしれません。
海辺にたって、「うみのむこう」はどんなかな、と海のむこうの世界を想像してみましょう。



しま

ISLAND
作・絵:マルク・ヤンセン 出版社:福音館書店



“しま”にはやさしい世界がありました

大荒れの海の中、男性と女の子がたどり着いた島。それは大きなカメの背中でした。彼らをのせて「島」は、さざざな海を旅します。しかし海の中で起きていることは、「島」の上にいる人間は知りません。そしてついに、彼らが船に登るときが来ました。
オランダ出身のイラストレーターによる、文字のない絵本です。言葉はなくても、絵は壮大なドラマを語りかけます。



英語でもよめるスイミー

SUMMING ISLAND
作・絵:レオ・レオニ 絵:谷川 龍太郎 出版社:好文社



世界中で愛されるスイミー

オランダ出身の絵本作家レオ・レオニの名作「スイミー」は、世界中の言葉で翻訳され、国を超えて愛される絵本。日本語版は「らいさなしこいさかなのはなし」として教科書でも紹介されています。
言葉は違っても、世界のみんなが同じ絵を見てこの絵本を読んでいます。今日本で翻訳して読めるスイミーを紹介します。



漂流物

FLOTSAM

作・絵:デイヴィッド・フィーズナー 出版社:BL出版



1台のカメラが教えてくれる 海の世界、世界のつながり

浜辺で遊んでいた少年が一台の水中カメラを見つけました。現像してみると海の中の不思議な世界が映されています。カメラの写真には、少年が出会ったことのないたくさんの子どもたちの姿も。この海が世界のあらゆる国と繋がっていると感じさせる一冊です。



オセアノ号、海へ！

OCEAN

作:アヌク・ボワロベール、ルイ・ゴー 訳:松田 素子
出版社:アソマ・スタジオ



わたしたちが知る海の中には どんな世界が広がっているのだろう

青い海、静かな海、漆の海、崖の海…。この本の中にあるのは、わたしたちが見ている海面の、その下の世界。それは想像以上にぎやかで、いのちに溢れ、美しい。人間の見えていない世界の広さを知り、その世界をのぞいてみたくなる本です。



ぼくはひとりで

Hành Trình Đầu Tiên

作・絵:ファン・ダエ・ハクアン、ブイン・ギム・リエン
訳:はとりこまこ 出版社:富士山童書インターナショナル



世界には、ボートで学校に通う 男の子がいる

絵本の舞台はベトナムのメコン川流域。この地域では雨の多い季節になると川の水があふれ、子どもたちはボートで学校へ通わなくてはなりません。激しい波や雨の中、ひとりだけのボートの旅は心細いもの。しかしまたのさまざまな動物たちの姿にはほほえみ、少年は川むこうを目指します。



プラスチックのうみ

THE MESS THAT WE MADE

作:ミシェル・ロード 絵:ジュリア・ブチットマン 訳:田上 拓士
出版社:小学館



「ぼくたちが すてた ごみ」を考えよう

「ごみです。ぼくたちが すてた ごみです。」「さなです。ぼくたちが すてた ごみのなかで さなです。」ページをめくるたび言葉は積み重ねられ、ごみはどんどん増えています。この本を日本語に訳したのは当時小学5年生の男子。日本は世界で2番目に1人あたりのプラスチックごみが多い国と言われます。今私たちができることを考えてみましょう。



うみへいった ちいさなカニカニ

DON'T WORRY LITTLE CRAB

作:クリス・ホートン 絵:本坂洋 出版社:BL出版



まだ見ぬうつくしい世界に おくびょうになっていいか？

アイルランドの代表する作家が描く「ちいさなカニ」のおはなし。カニは世界中の海や川で見られる生き物。世界の絵本でもよく登場しています。このおはなしでは、ちいさなカニが挑む海へのはじめの一歩が描かれます。ちいさなカニと一緒に、海の世界の中へひだしてみましょう。



アルバ

うつくしいうみをまもった100さいのさかな

ALBA THE HUNDREDYEAR OLD FISH

作・絵:ララ・ホーリー 訳:新沢ヒシリコ 出版社:偕成書店



アルバの海をとりもどすためには…

サンゴ礁の海のまちが大好きなアルバ。たくさんの海の仲間と仲良く暮らしていましたが100歳の誕生日を迎えるころ、仲間がいなくなっていましたことに気づきました。海の生き物であるベトボトルの寿命は250年以上ともいわれます。アルバの大好きな海を取り戻すために、わたしたちにできることはなんでしょう。最後のページにある「うつのこと」からはじめてみませんか？



うみ

THE SEA

作:ピレット・ラウド 絵:内田ひづる 出版社:岩波書店



“うみ”はみんなの おかあさん

ヨーロッパの国、エストニア生まれの絵本です。この絵本でてくる「海」は、みんなの「お母さん」。おやすみ前のものがたりの物語など、おかあさんと子どもたちのやりとりを描いています。わたしたちの知っている「海」という漢字にも「母」という字が入っています。「海」という場所が、わたしたち人間をふくめた生き物たちの「母」であるという思いは、世界のみんながもつているのかもしれませんね。



イワシ大王のゆめ

THE KING ANCHOVY'S DREAM

再説:チョン・ミジン 絵:イ・ジョンギュン
訳:おおたけきよみ 出版社:光村教育出版



韓国に伝わる海の生き物のむかしばなし

韓国的小学校の教科書にもでてくる、韓国に伝わる昔話。絵本に登場するイワシも、ヒラメも、ナマズも、エビも…。わたしたち日本でもよく知られている海の生き物です。それぞれの海の生き物の特徴を、韓国のおえどとともにヨーロッパと一緒に教えてくれます。

■かほく市立中央図書館

期間 : 2024年7月13日(土)～8月18日(日)
場所 : 本館1階
内容 : 選書絵本16冊 + 図書館司書による選書
来場者数 : 約7,900名



■七尾市立図書館

期間 : 2024年7月13日(土)~8月7日(水)
場所 : 本館受付前・こども図書エリア
内容 : 選書絵本16冊 + 図書館司書による選書
来場者数 : 約5,000名



■学びの杜ののいちカレード

期間 : 2024年7月15日(月・祝)※海の日
場所 : 音楽スタジオ
内容 : 選書絵本16冊
来場者数 : 約30名 ※おはなし会と同時開催



■小松市立空とこども絵本館

期間 : 2024年7月23日(火)~8月21日(水)
場所 : 本館1階 特設コーナー
内容 : 選書絵本16冊 + 図書館司書による選書
来場者数 : 約1,900名



■金沢海みらい図書館

期間 : 2024年7月25日(木)~8月12日(月・祝)
場所 : 児童書コーナー
内容 : 選書絵本16冊 + 図書館司書による選書
来場者数 : 約6,550名



■石川県立図書館

期間 : 2024年8月10日(土)~8月23日(金)
場所 : 屋内広場
内容 : 選書絵本16冊
来場者数 : 約15,297名



■玉川こども図書館

期間 : 2024年8月25日(日)~9月17日(火)
場所 : 2F展示スペース
内容 : 選書絵本16冊
来場者数 : 約1,000名



●A1おはなし展パネル



各図書館分(7種)を制作

●絵本紹介POP



展示絵本全16種分制作

●おはなし会案内POP



■小学生新聞連携：出張「せかいの海のおはなし展」

小学生新聞・夏号にて、出張版の「せかいの海のおはなし展」を掲載。
タブロイド版13段1ページ+3段(広告面)を石川県内小学生全生徒を対象に、6月第一週に配布。



配布対象：石川県内小学校202校・生徒53,461人

■まとめ

せかいの海のおはなし展 会場	期間	来場者数
かほく市立中央図書館	7/13(土)～8/18(日)	7,900
七尾市立図書館	7/13(土)～8/7(水)	5,000
学びの杜ののいちカレード	7/15(月・祝)※海の日	30
小松市立空とこども絵本館	7/23(火)～8/21(水)	1,900
金沢海みらい図書館	7/25(木)～8/12(月・祝)	6,550
石川県立図書館	8/10(土)～8/23(金)	15,297
玉川こども図書館	8/25(日)～9/17(火)	1,000
合計		37,677

前年度の実績をもとに、2024年度は能登エリアでの開催を広げることができました。(七尾市立図書館)

今年度は、絵本紹介コメントパネルのデザインをよりキャッチーで楽しい雰囲気にブラッシュアップ。親子で手に取りたくなるよう工夫を重ねました。また、『じゅうによんでね』『うみのえほんだよ』といった親子に語りかけるようなPOPも追加し、展示全体の親しみやすさを高めることで、より多くの来館者が立ち止まり、絵本を手に取ってくれる機会が増えたように感じます。さらに石川県立図書館では、展示されている絵本を読んだ感想を自由に書ける「絵本の感想BOOK」も設置。来館者とのやりとりが生まれ、双方向のコミュニケーションが実現しました。来年度は、このような取り組みをさらに多くの図書館でも広げていきたいと考えています。



③せかいの海のおはなし会

③せかいの海のおはなし会

開催期間：2023年7月21日(日)～8月25日(日) 計7回

開催場所：石川県立図書館

金沢市立玉川こども図書館

金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館

七尾市立図書館

内容：「世界の海」とのつながりについて考える絵本のおはなし会を開催。

海の歌や、世界の海のクイズなども取り入れ、おはなしを聞くだけではない展開に工夫。

協力：石川県立図書館・金沢市立玉川こども図書館・金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館・野々市市立学びの杜ののいち カレード・

かほく市立中央図書館・七尾市立図書館

石川子ども文庫連絡会・かほくおはなしボランティアやまんば・しひびの会

公立小松大学・北陸大学

■学びの杜ののいちカレード

日時 : 7/15(月・祝※海の日) 10:30~
場所 : 音楽スタジオ
協力 : 石川こども文庫連絡会
参加 : 計30人(こども17人、大人13人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ・紙芝居
- ④行きたい国ヘシールをはろう
- ⑤海のむこうに紙ヒコーキを飛ばそう
- ⑥せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・海にごみを捨てたらだめなこと
- ・海についてよくわかったし、海がきたないと生き物が住めないから海にごみを捨てないようにしたい。
- ・今日のイベントから漂着モンスター作りまでの一連の流れを体験して、海についていろいろ知りたいと思った。(保護者)
- ・環境にいいものを選ぶようにしたい。(保護者)



■かほく市立中央図書館

日時 : 7/21(日) 11:00~
場所 : 児童書コーナー
協力 : かほくおはなしボランティアやまんば
参加 : 計41人(こども18人、大人13人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ・紙芝居
- ④うみの生き物と遊ぼう
- ⑤せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・海にごみを捨てたらダメ
- ・うみをおまもる
- ・うみがだいじ
- ・子供たちが海と仲良くなれてよかったです。(保護者)
- ・小さい子供に合わせて紙芝居や絵本からスムーズにつながっていて楽しめた。(保護者)



■小松市立空とこども絵本館

日時 : 7/23(火) 10:30~
場所 : 1F
協力 : 絵本館司書・公立小松大学
参加 : 計30人(こども16人、大人9人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ・紙芝居
オーシャンドラムとともに
- ④うみの生き物の手遊び
- ⑤せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・海にも命を大切にしないといけないことがわかった。
- ・おはなしの時に波の音が聞こえてキレイだった。
- ・かりゆしの海みたいにきれいな海をたもつため、海にゴミを
することは絶対にしない。
- ・自分から選ばない絵本を読むことが出来てよかったです。(保護者)
- ・もっと海について勉強したい。(保護者)



■七尾市立図書館

日時 : 8/7(水) 19:00~
場所 : 児童書コーナー
協力 : 七尾市立図書館司書・しひびの会
参加 : 計34人(こども20人、大人14人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ・紙芝居(ピアノ伴奏と共に)
- ④「さかな」の手遊び
- ⑤みんなで歌おう「海」と「ふるさと」
- ⑥せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・プラスチックはリサイクルする。ゴミは分別する。
- ・プラゴミが出ないように、使うものを考える。
- ・海に行ったり、海に関する本をもっとたくさん読みたい。
- ・日本ではゴミはぶんべつしているし、海や川に捨てる人もかなり減っていると思うが、なぜ減らないのか不思議に感じる。(保護者)



■金沢海みらい図書館

日時 : 8/12(月・祝) 10:30~
場所 : 交流ホール
協力 : 石川こども文庫連絡会
参加 : 計44人(こども22人、大人22人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ・紙芝居
- ④うみの手遊び
- ⑤「船長さんのシャツ」作ってみよう
- ⑥せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・本がおもしろかった！
- ・海のむこうにも友達がいることをしった！
- ・分別をこころがけたい。
- ・環境問題について、こどもと話題にしやすくなると感じた。
(保護者)
- ・趣旨が伝わる選書だと感じた。(保護者)



■石川県立図書館

日時 : 8/18(日) 10:30~
場所 : だんだん広場
協力 : 石川県立図書館司書
参加 : 計73人(こども35人、大人38人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ・紙芝居
- ④ゲーチョキパーでうみの手遊び
- ⑤せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・おはなしがたのしかった！
- ・うみのゴミをすてたらいきものがかわいそーだとおもった。
- ・ゴミの分別が大事だと勉強した。
- ・絵本がかるすぎず、重すぎず分かりやすかった。(保護者)
- ・ゴミ問題に关心が持てた。(保護者)
- ・自分では選ばない絵本と出会えた。(保護者)



■玉川こども図書館

日時 : 8/25(日) 11:00~
場所 : おはなしの部屋
協力 : 北陸大学
参加 : 計27人(こども14人、大人13人)

プログラム

- ①日本財団・当プロジェクトの活動説明
- ②世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
(アースボール登場)
- ③絵本の読み聞かせ(スクリーン投影)
- ④英語の手遊び
- ⑤せかいの海のおはなし展の紹介

参加者アンケート

- ・もっとうみを大切にしていきたい。
- ・海のゴミをひろう！
- ・ギターの音が海の深さ、海の広さを想像させられてよかったです。
(保護者)
- ・部屋全体がおはなしの世界になり、大人も楽しめた。(保護者)



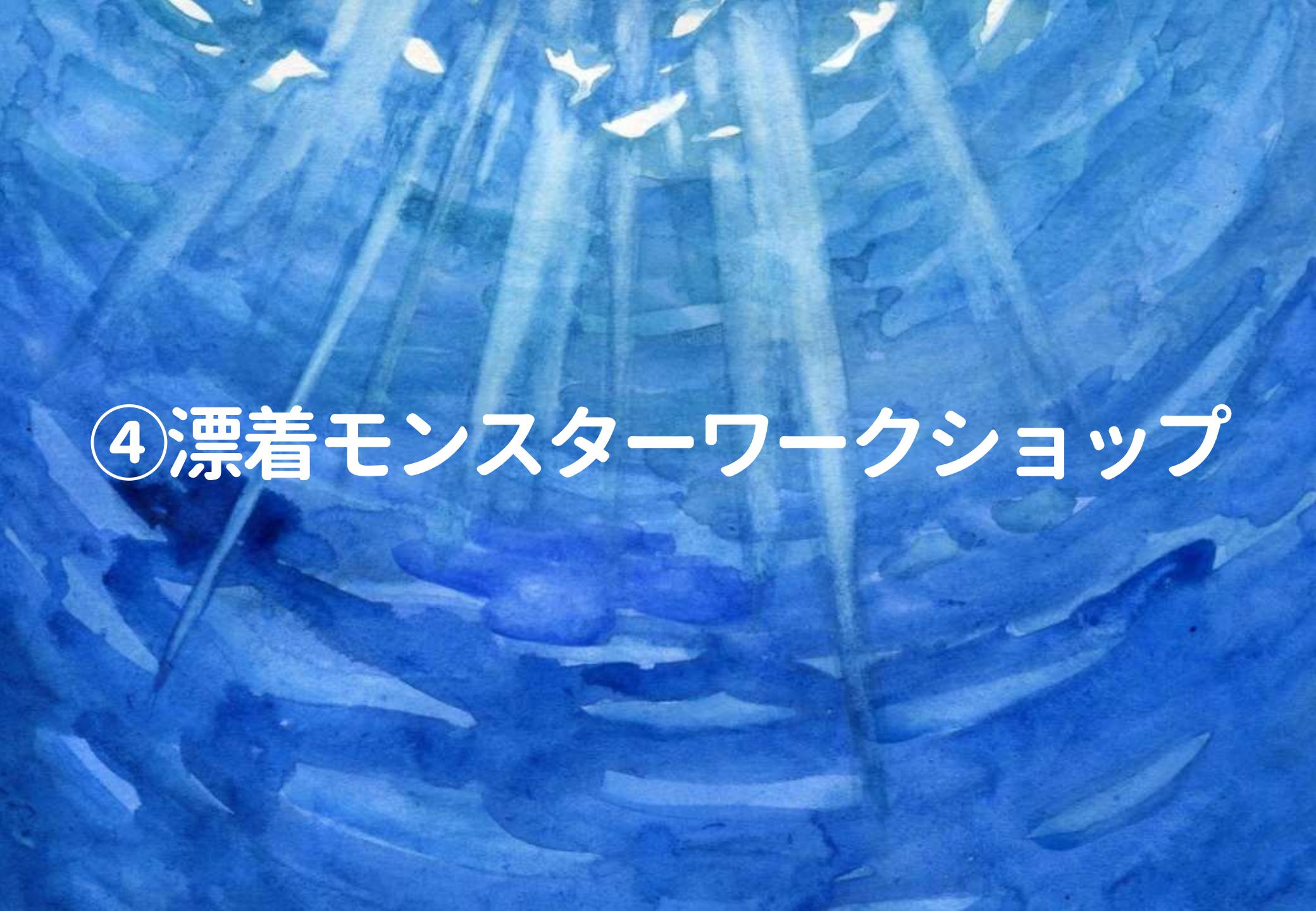
■まとめ

せかいの海のおはなし会 会場	期間	来場者数
学びの杜ののいちカレード	7/15(月・祝※海の日)	30
かほく市立中央図書館	7/21(日)	41
小松市立空とこども絵本館	7/23(火)	30
七尾市立図書館	8/7(水)	34
金沢海みらい図書館	8/12(月・祝)	44
石川県立図書館	8/18(日)	73
玉川こども図書館	8/25(日)	27
合計		279

前年度の実績をベースに、新たな図書館や団体と協力した「せかいの海のおはなし会」を開催することができた。

各図書館からは、人が集まりやすい導線、広いイベントスペースの確保、開催日時の調整など、柔軟かつ前向きに開催のご協力をいただき、通年の実績と信頼関係の成果だと感じている。

読み手として参加いただいた協力パートナーも、企画の主旨に強く賛同くださり、“より深く海を知る”というテーマのもと、各団体独自の工夫(ギターやピアノの生演奏、手遊びや工作などの体験)を凝らしていただき、2024年度はより充実したプログラム構成を組むことができた。



④漂着モンスター ウークショップ

②漂着モンスタークシヨツ

①8/9(金) 金沢海みらい図書館 10:30~12:00

②8/22(木) 金沢港クルーズターミナル 14:30~16:00

※地元企業スポンサーにて開催

内容 : 絵本作家竹与井かこさんと「漂着物」をつかったモンスタークシヨツを開催。
参加者自らが拾ってきた「漂着物」を組み合わせて、海のモンスター作品をつくり
そのモンスターのおはなしを想像しました。

協力 : 竹与井かこ、金沢市立金沢海みらい図書館





プログラム

- ①挨拶：日本財団と「世界へ旅する絵本ボート」活動の説明
- ②ゲスト竹与井かこさん登場
- ③漂着物について考えよう(クイズ形式)
- ④漂着モンスターとその物語の創作
- ⑤みんなのモンスターにインタビュー
- ⑥クロージング



■金沢海みらい図書館

日時 : 8/9(金) 10:30~12:00
場所 : 交流ホール
参加 : 計70人(こども34人、大人36名)

参加者アンケート

- ・イベントで楽しみながら勉強できていいなとおもった。
- ・たのしかった！また来年も来たい。
- ・作品作りまえの、ゴミの寿命についてのおはなししがおもしろかったです。
- ・漂着物を探したときあまりのゴミの多さにおどろいた。(保護者)
- ・身近なことで環境問題について考えさせられたので、これからも日常生活のなかでこのような機会をもちたい。(保護者)
- ・海に流れつくゴミの種類の多さにびっくりしました。
捨ててしまえばごみだけど、組み合わせ次第で愛着が湧いてくるモンスターになってくるのが面白かったです。(保護者)



■金沢港クルーズターミナル

日時 : 8/22(木) 14:30~16:00
場所 : 2F 研修室
参加 : 計61人(こども31人、大人30人)



参加者アンケート

- ・ゴミをひろってまた作りたいです。
- ・うみはきれいじゃないとそこにいる生き物が苦しむとしました。
- ・このイベントがあるとみんなゴミを拾って捨ててくれるかもしれないから他の県でもやってほしい。
- ・海は汚いからごみを減らす話をしたい。
- ・漂着物を探しに行った際に、海水浴客のごみも多く目についたのでポイ捨て等、今まで以上に気を付けようと思う。(保護者)
- ・実際に海に行って、ゴミを見て、未来の海について考えるきっかけになった。(保護者)

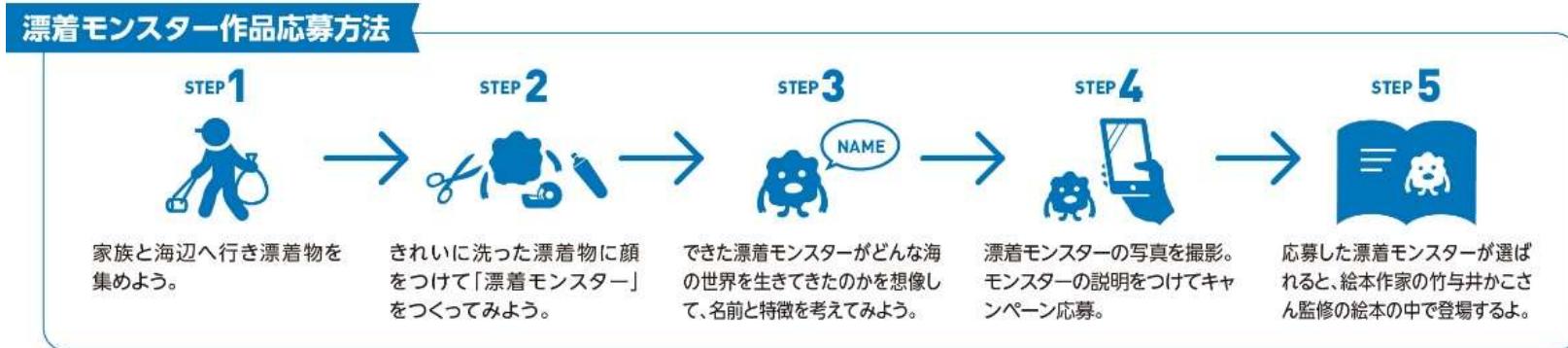




⑤漂着モンスター募集キャンペーン
&絵本制作

⑤漂着モンスター募集キャンペーン&絵本制作

- 内容** : 海で拾った漂着物でつくったオリジナルの「漂着モンスター」作品募集キャンペーンを開催。
応募作品は、竹与井かこさんの監修のもと選考し、「ひょうちゃくモンスター」の絵本に掲載。
- 協力** : 竹与井かこ、金沢市立金沢海みらい図書館



作品応募要項

募集テーマ

海で生まれた“ヒカリの漂着モンスター”または“ヤミの漂着モンスター”

※あなたが海で拾った漂着物でつくったモンスター作品

作品募集期間

2024年 7月13日(土)～9月30日(月)

応募方法

上記のQRコードより応募フォーマットに沿って、応募ください。

応募資格

全国の小学生の方を対象とします。

完成絵本のお渡し

モンスター作品が絵本に掲載された方を対象に、完成した絵本を1冊プレゼントいたします。

絵本の完成は2025年1月末
発送は2025年2月予定

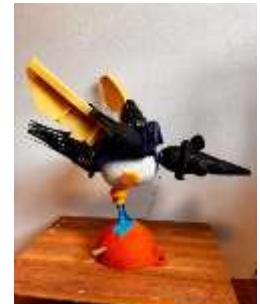
お問い合わせ

世界へ旅する絵本ポートプロジェクトWEBサイト「問い合わせ」フォームよりお問い合わせください。<https://www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/>

※その他注意事項については応募詳細URLをご覧ください。

■應募作品(一部紹介)

計112作品



2024制作絵本概要

ひょううちやくモンスター
～ひかりとやみのたたかい!?～

ひょううちやく モンスター

Debris Monsters

ひかりとやみのたたかい!?

The battle between light and darkness!?

「なんなんだおまえ。やめてくれえ」
「What are you doing? Stop it!」

「おれさまは ていおうバット!
おまえたち にんげんが すてた
ゴミの なれのはて——
やみのモンスターだ」
「ていおうバットは、バッサバッサと
はははいて、いまにも
とびかかって きそうです。」

I am the mighty Dark Emperor Bat! An ultimate being created from the trash you humans
throw out the world. A Master of Darkness!
The emperor Employs his wings furiously, ready to attack at any moment.

ひょううちやく
モンスター

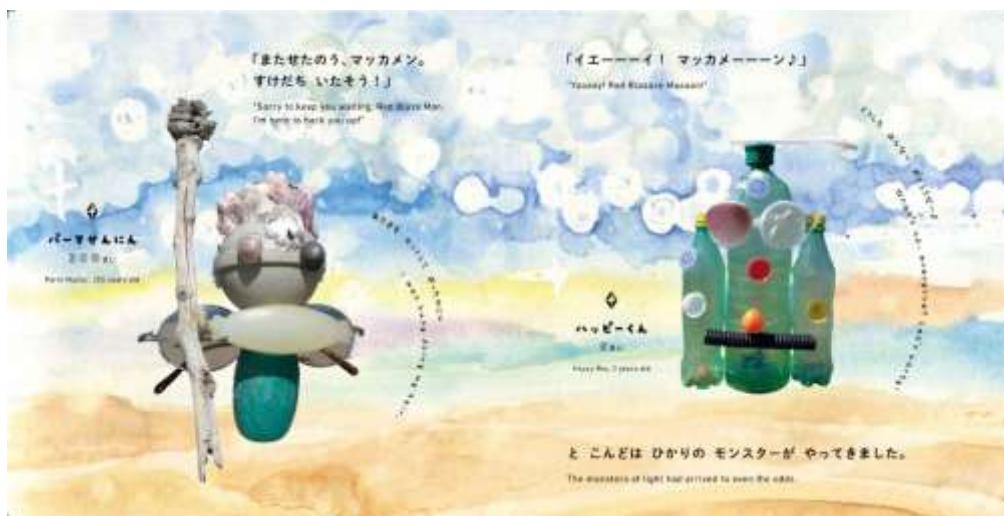
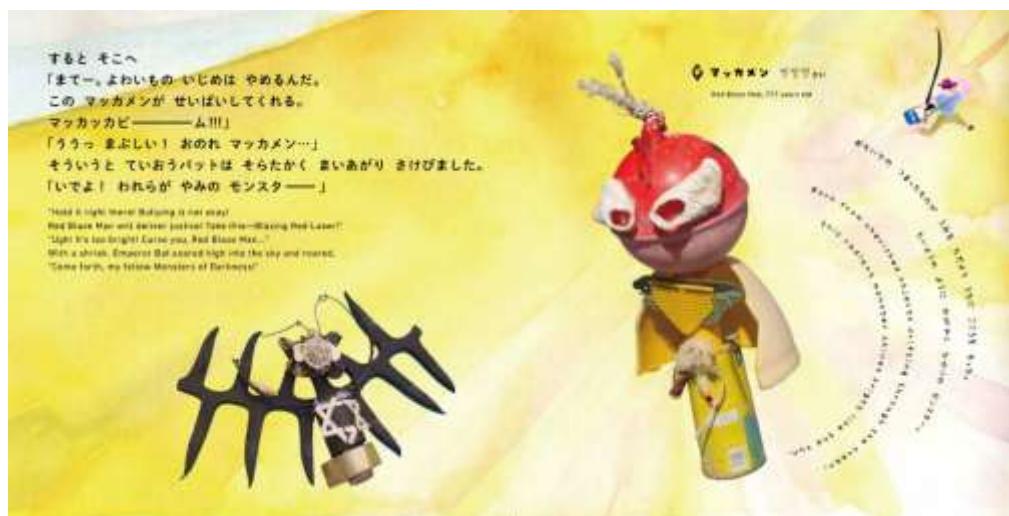
ひかりとやみのたたかい!?

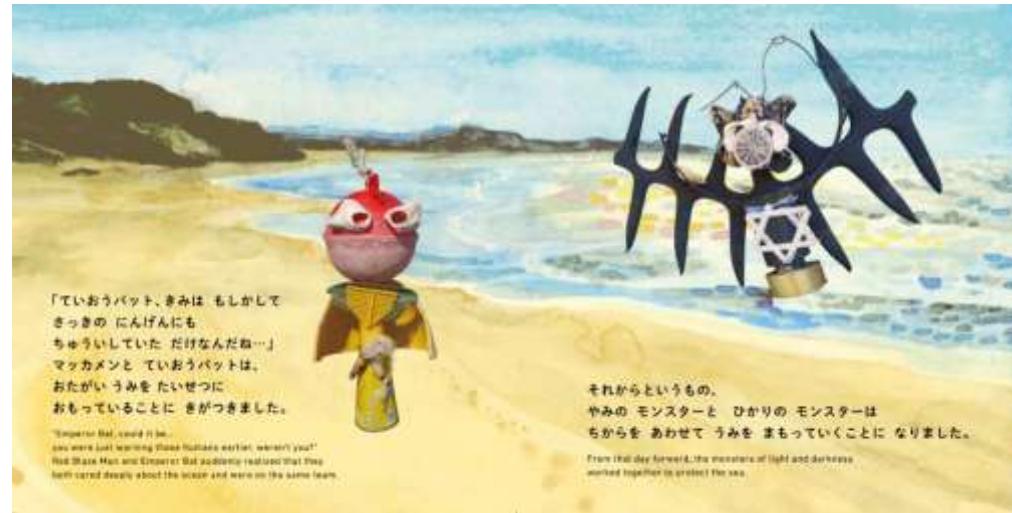
「ギー——」うみべにひめいが ひろいでいます。

© 2013 Shigeo Fukuda All rights reserved.

© ていおうバット 2013
© 2013 Shigeo Fukuda All rights reserved.







■まとめ

「ひょうちゃくモンスターワークショップ」は、募集開始からわずか1週間で定員に達し、県内での広報の効果とともに、プロジェクト全体への認知や関心が着実に広がっていることを実感する機会となった。

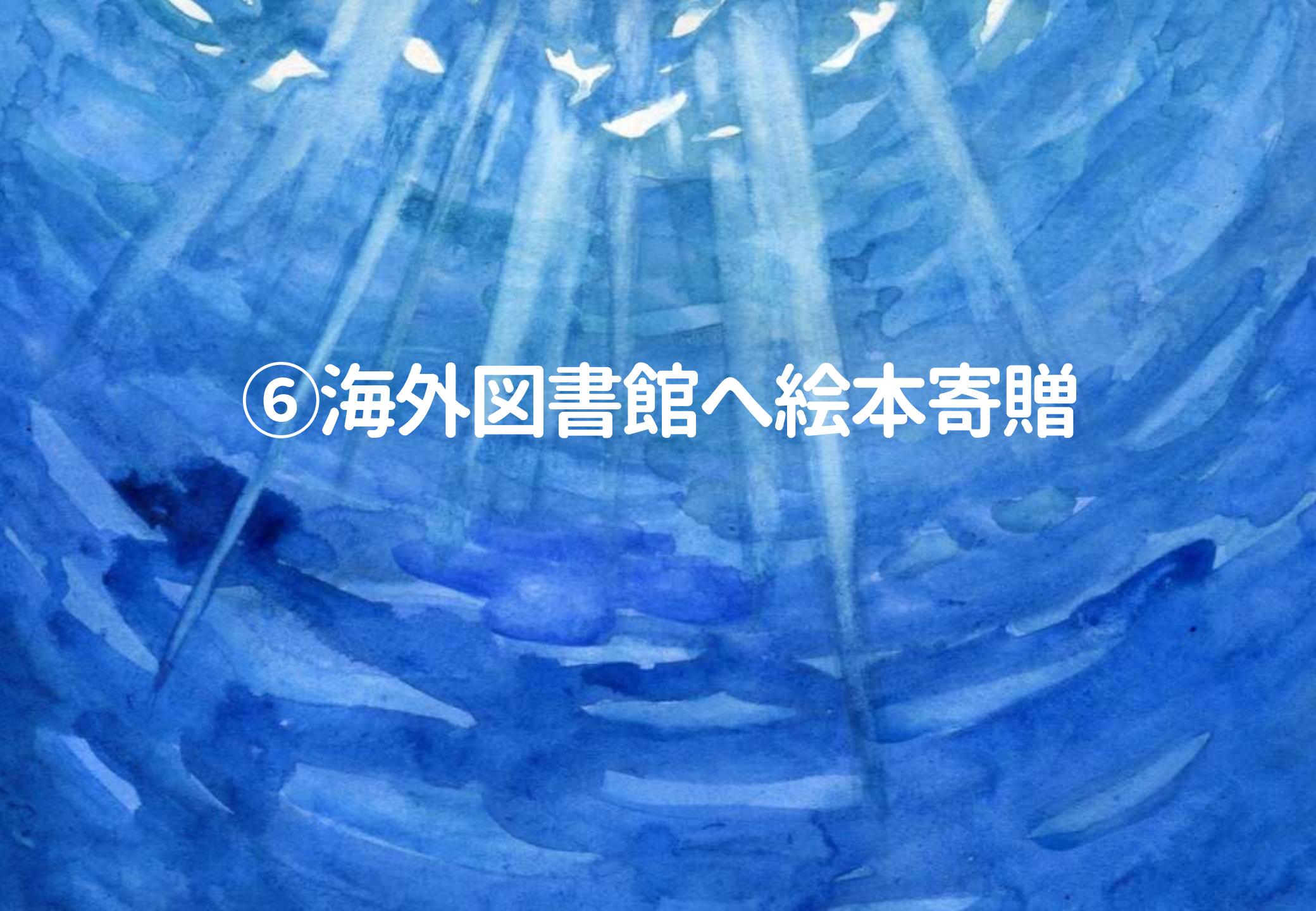
2024年度は、地元企業からのスポンサー協力も得られたことで、年間2回の開催が実現。これまで以上に多くの県内の親子に参加してもらうことができ、活動の広がりを感じた一年となった。

参加者アンケートでは、「海に漂着物を拾いに行った際、思っていた以上にゴミが多くて驚いた」といった声が多く寄せられた。親子で実際に海を訪れ、自分の目で現状を見てからワークショップに参加するという流れが、プロジェクトが伝えたい課題意識と自然にリンクし、深い理解や共感を生むきっかけになっていると感じている。

あわせて実施した作品募集キャンペーンでは、2024年度のテーマを「ヒカリのモンスターとヤミのモンスター」とし、新たな世界観を提示。前年とは異なる雰囲気やストーリー性を持ったモンスターたちが集まり、絵本全体の表現にも広がりが生まれた。テーマ性を明確に打ち出したことで、図鑑形式ではなくストーリー仕立てで構成することができ、作品としての完成度も大きく向上したと感じている。

また、応募された全112作品をすべて物語の中に登場させるための演出にも工夫を凝らした。

ワークショップ・キャンペーンともに参加者・協賛企業から高い評価を得ており、今後は石川県内にとどまらず、県外や海外への展開も視野に入れ、より広い地域への活動の可能性を探っていきたい。



⑥海外図書館へ絵本寄贈

⑥海外図書館へ絵本寄贈

内容 : 2024年度本事業で制作した絵本「ひょうちゃくモンスター～ひかりとやみのたたかい!?～」
を国際姉妹都市を中心に寄贈。

寄贈先一覧

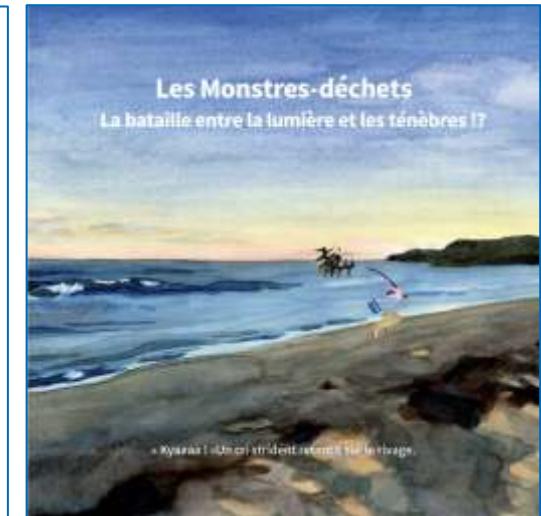
姉妹都市	国名	展示場所
バッファロー市	アメリカ	Buffalo and Erie County Public Library
ポルト・アレグレ市	ブラジル	以下施設・小学校を巡回 1.EMEF ネウサ・グーラート・ブリゾラ校 2.EMEF ジルベルト・ジョルジ・ゴンサルヴェス・ダ・シルヴァ校 3.EMEF マリオ・キンタナ校 4.EMEF アナ・イリス・ド・アマナル校 5.ポルト・ノーヴォ市立小学校
ゲント市	ベルギー	Bibliotheek De Krook
ナンシー市	フランス	ナンシー自然博物館 ナンシー大学病院こども病院図書館
全州市	韓国	全州市立図書館コッシム
ギズボーン市	ニュージーランド	HB Williams Memorial Library
サイダ市	レバノン	調整中 ※ナンシー市からの紹介

●絵本紹介パネル(A4)



日本語、英語、ポルトガル語、フランス語、オランダ語、韓国語の各5か国分を制作

●絵本翻訳冊子(フルカラー)



ポルトガル語、フランス語、オランダ語、韓国語の各4か国分を制作

■オンライン会議への参加

姉妹都市フランス・ナンシー市からフランスとレバノンの若者が集う青年議会へ招待をいただき、オンラインにて参加。当プロジェクトの活動紹介や、海洋保全を世界へ活動を広げるための課題やアイデアをディスカッションしました。

【会議での質疑一例】

●絵本をどのように活用したらいいか。

→モンスターが形作られている。ゴミのちがいなど、絵本を通して日本と海外の海の違いを話したり、気づいたりするきっかけにして欲しい。

●非常にすばらしい、インスピレーションを得ました。海にゴミの47%はごみは漁業の網。子供たちを海に連れて行くだけでなく、海のゴミの伝えるような活動をして欲しい。

→いただいた視点も踏まえ、海への気づきを増やしたい。

ぜひ、世界各地でひょうちゃくモンスターワークショップをやって欲しい。



Projet de coopération entre la ville de Saida, la ville de Nancy et la Métropole du grand Nancy dans les domaines de la jeunesse, de la participation citoyenne et de l'économie locale

Échange entre les jeunes de Nancy, de Saint Max et les jeunes de Saida

Mercredi 19 mars 2025

de 18h15 à 19h45 (heure française) / de 19h15 à 20h45 (heure libanaise)

en virtuel sur le lien : <https://zoom.us/j/9813157414>

Organisé en partenariat avec :

La métropole du Grand Nancy

La ville de Nancy

La municipalité de Saida

Crés Unies Liban/Bureau Technique des Villes Libanaises

Avec l'appui financier du Ministère français de l'Europe et des Affaires Étrangères

Note de cadrage et programme prévisionnel

Contexte

La ville de Saida, la Métropole du Grand Nancy et la ville de Nancy mènent un projet de coopération autour des thématiques de la jeunesse, de la participation citoyenne et du développement économique local. Le projet est mis en œuvre en partenariat avec Crés Unies Liban/BTL et avec l'appui financier du Ministère français de l'Europe et des Affaires Étrangères.

L'échange du 19 mars 2025 est le troisième et dernier échange prévu entre les jeunes de Nancy, de Saint Max (Grand Nancy) et de Saida dans le cadre du projet de partenariat 2023-2024. Il permettra, à partir des présentations et des échanges, de tirer des pistes de réflexion pour une suite de la coopération entre les jeunes.

Participants

- La métropole du Grand Nancy et la ville de Nancy
- La municipalité de Saida
- Le Conseil Municipal des Jeunes à Saida
- Le Conseil Municipal des Jeunes à Nancy et Saint Max
- Crés Unies Liban/Bureau Technique des Villes Libanaises

■まとめ

絵本寄贈は3年目を迎え、各国の担当者との関係を着実に築くことができました。

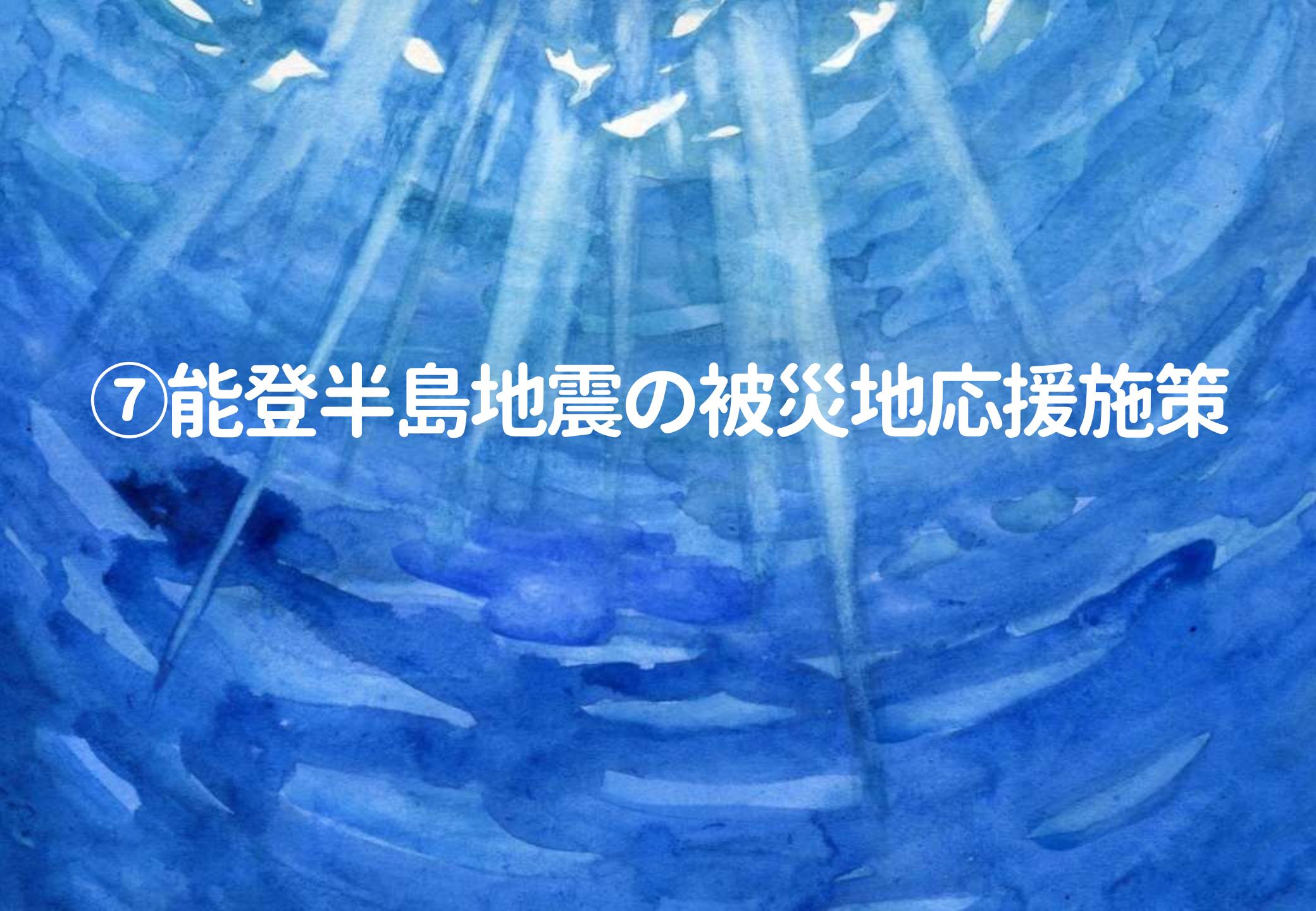
特に、フランスのナンシー市からは当プロジェクトの活動に深い共感と興味を示していただき、その後、関係があるレバノンへの絵本寄贈の可能性について問い合わせをいただきました。

ナンシー市経由ではありますが、2024年度にはレバノンのサイダ市への絵本寄贈を実現することができました。

さらに、絵本寄贈にとどまらず、フランスとレバノンの若者議会にも招待いただくことができ、当プロジェクトの活動を世界へ発信する貴重な機会となりました。また、現地の参加者との交流を通じて、プロジェクトにとって非常に有意義な経験を得ることができました。

これにより、プロジェクト運営単位として国境を越えたコミュニケーションの一歩を踏み出せたと感じています。

今後は、「日本の子どもたち×世界の子どもたち」の交流の場を実現するために、当プロジェクトのコンテンツがどのように活用できるかを検討していきたいと考えています。



⑦能登半島地震の被災地応援施策

■ 「ぼくたちとうみ」オンライン化

2022年度制作絵本「ぼくたちとうみ」に“読み聞かせ音声”と“楽曲”をつけてオンライン化し、音楽絵本としてYouTubeで配信。いつでも・だれでも・どんな環境でも簡単に絵本の読み聞かせが楽しめ、被災地に負担がかかる支援を目指した。



現在YouTubeにて絶賛公開中！



制作した「ぼくたちとうみ」の音楽絵本は、YouTubeにアップロード後、QRコードを記載した栞を能登エリアの図書館を中心に配布を依頼。おはなし展やおはなし会・ワークショップなどのイベントなどでも参加者へ配布した。

■能登エリア図書館訪問・絵本寄贈

3/11(火)に各図書館へ直接伺い、海をポジティブに捉えられる絵本を15冊 + プロジェクト制作絵本2冊の計17冊を能登エリア図書館9か所へ寄贈に伺った。

2024年度制作絵本「ひょうちゃんくモンスター～ひかりとやみのたたかい!?～」には絵本作家：竹与井かこさんからの直筆サインとイラストを記載。絵本寄贈とともに、各図書館の震災後の状況や、現地で感じられたことなどを伺うことのできる貴重な時間となった。

●寄贈図書館一覧

市町村	図書館名	住所
珠洲市	珠洲市民図書館	珠洲市野々江町ユ部1番5
輪島市	輪島市立図書館(仮説)	輪島市宅田町48-1 ワイプラザ別棟内
	輪島市立門前図書館	輪島市門前町走出2-2
能登町	能登町中央図書館	鳳珠郡能登町字宇出津ト字29-2 コンセルのと
	能登町柳田教養文化館	鳳珠郡能登町字柳田礼部8-1
穴水町	穴水町立図書館	鳳珠郡穴水町字大町ト3-3 さわやか交流館ブルート
志賀町	志賀町立図書館	羽咋郡志賀町高浜町力の1-2
	志賀町立富来図書館	志賀町富来領家町甲の10
七尾市	七尾市立図書館	七尾市神明町1 ミナ.クル3階





能登エリア各図書館のご担当者様との面識を獲得したことから、2025年度の能登での実働イベント開催に向けての足掛かりとなる訪問となった。

●寄贈絵本一覧

順位	タイトル	リンク	メモ
1	えほん北緯36度線	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=7979&srsltid=AfmBOoq9R_EHmks1PdxKxEiPraPKXYVCXrYzFVyCoROVyZhw7FBAhxby	東京を起点に世界を同緯度でたどる。
2	クジラがしんだら	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=264918&srsltid=AfmBOoqLdOvnrMVdH-nPh1cZhdWODk2holEHIqh7TFbhSR8Z7F0cSRY5	監修：国立研究開発法人海洋研究開発機構。
3	うみのおと	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=207055&srsltid=AfmBOOrGEUp-jFugpIDTz6fmxFd-htUIKJA-r6P50ZnuaFiMaL3KuYm	作者の立本倫子さんは石川県出身。
4	うみのたからもの	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=222642&srsltid=AfmBOoraxirGg52QpddfJIQkXtv7QKGdab_zF5Hqmvv7am6tKEfGjhX	2024年選書絵本
5	そらうみ	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=222641&srsltid=AfmBOoqd_EIHHZ6MSAvbPSWyGStaLUCyC1h9CQVaPfVp9x40X7HNJHkD	夏の一番暑い日に読みたくなる絵本。
6	うみまだかな	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=119282&srsltid=AfmBOopuMAeJeQrPR49zsK66jwCKZVLgh6H_Ze1A4jKKHC3eWGVf5CWo	海へのドライブの物語。
7	なみ	https://www.ehonnavi.net/ehon/29062/%E3%81%A4%E3%81%BF/	文字の無い絵本。各国で出版。
8	うみ ざざざ	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=85587	色々な海が登場する絵本。
9	ねずみのかいすいよく	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=563	大人気14ひきシリーズ。
10	チリとチリリ うみのおはなし	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=7197	絵がかわいらしい冒険のおはなし。
11	オセアノ号、海へ！	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=90224	毎年選書。絵が飛び出す絵本。
12	海	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=678&srsltid=AfmBOoqsbLlwNRmd2tyvtwomhCEBftt38-qZi_dy64r97hEw4K3pY7M6	こまかく描きこんだ絵本図鑑。かこさとし
13	ねこざかな	https://www.ehonnavi.net/special.asp?n=1507&srsltid=AfmBOooG6X1TxZXMJvtiah2rZsowITd9GJdSc9smnpdyAxooxzjnxEA9	名作により、新版登場。
14	うみの100かいだてのいえ	https://www.ehonnavi.net/ehon00.asp?no=102840&srsltid=AfmBOopzv3fhnJXnR1CzqZQ0MyluGDEKmctVexXE_rVX-VhhyduXbxpQ	大人気100階建てシリーズ。
15	ひょうちゃくモンスター2023		
16	ひょうちゃくモンスター2024		



⑧メディア露出

■北國新聞朝刊 取材記事



絵本で海に興味広げ

七尾など「おはなし展」開幕

七尾など「おはなし展」開幕

絵本を通じて子どもたちに世界の海への興味を広げてもうプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールド）がおはなし会を開催。北國新聞社主催の「おはなし会」は、中央図書館で開かれ、親子約40人が海や魚を題材とした絵本の読み聞かせに入った。

住民有志でつくる「おはなしボランティアやまなば」は、山名田富志江さんと絵本塾の山名田富志江さんと絵本塾の

スチックのうみ

海を漂流するプラスチックごみ問題を題材にした「プラスチックのうみ」や、ボート

16冊が並んだ。

8月7日まで、最終日に

・絵本で海に興味広げ

七尾など「おはなし展」開幕
掲載日:2024年07月14日(日)発行



絵本の読み聞かせをする親子
＝かほく市中央図書館

絵本を通じて海に興味を

絵本を通じて子どもたちの海への興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールド）がおはなし会を開催。北國新聞社主催の「おはなし会」は、ほく市中央図書館で開かれ、親子約40人が海や魚を題材とした絵本の読み聞かせに入った。

住民有志でつくる「おはなしボランティアやまなば」は、山名田富志江さんと絵本塾の山名田富志江さんと絵本塾のスチックのうみ

・絵本を通じて海に興味を

かほく市中央図書館

親子40人に読み聞かせ
掲載日:2024年07月22日(月)発行

絵本の読み聞かせに聞き入る親子
＝小松市空とこども絵本館



絵本で海にこぎ出して

小松で読み聞かせ会

絵本を通じて子どもの海への興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールド）がおはなし会を開催。北國新聞社主催の「おはなし会」は、ほく市中央図書館で開かれ、親子約40人が海を題材

にした読み聞かせを楽しんだ。同館の坪田恵子さんが紙芝居や絵本などを情感豊かに披露し、おはなし会の最中には、公立小学校の学生が「オーシャンドラム」で波の音を表現し物語の世界に引き込んだ。8月21日まで、絵本16冊が展示される。

・絵本で海にこぎ出して

小松で読み聞かせ会

掲載日:2024年07月24日(水)発行

■北國新聞朝刊 取材記事

読み聞かせを楽しむ親子
七尾市立図書館



・絵本で海に興味広げ 七尾で読み聞かせと工作
掲載日:2024年08月09日(金)発行

子どもが絵本を通じて海への興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」(親子の絵本ワールドルドイン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催)の催しは7日夜、七尾市立図

絵本で海に興味広げ

七尾で読み聞かせと工作

ティア団体「じひひの会」の寺井寛子さんら5人が情縁かに紙芝居や絵本を披露した。読み聞かせ後、親子たちは折り紙でジンベエザメやカニをつくり、楽しい時間を過ごした。

書館で開かれ、親子が海や魚をテーマにした絵本の読み聞かせに耳を澄ませた。『夜のどよかん』と題して絵本の読み聞かせと工作を楽しむ催しで、ボラン

漂着物でモンスター制作

世界へ旅する絵本ポート



海みらい図書館
海への好奇心を育むプロ

プロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」のワークショップ
親子の絵本ワールド

作家ユニット「竹寺井かこ」
の笛井信吾さんと畠中幸子
さんの指導で、事前に海で
拾った漁具や網、プラスチ

イン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催は9日、金沢海みらい図書館で開かれた。親子約60人が海に漂着物を使って個性豊かなモンスターを制作し、海洋「みを減らして海の生き物を守る大切なことを学んだ。

ペットボトルは250年、釣り糸は600年にわたって海中に残存し、生き物を苦しめるところが説明された後、参加者は絵本

作家ユニット「竹寺井かこ」
の笛井信吾さんと畠中幸子
さんの指導で、事前に海で
拾った漁具や網、プラスチ

ック容器、流木などを想い
思いに組み合わせて「漂着物」と話した。制作した漂着モ

ンスターは、竹寺井かこの
深い海の底にすむ「ハ

イバー・マリアナカジキ」を

作った西田譲二(熊本市

要生小3年)は、「たさん

の『みが海に落ちたの

で、もっと減ってほしい

と話した。制作した漂着モ

ンスターは、竹寺井かこの
2人が監修するオリジナル

絵本は、来年1月に発売予

定で、世界各地に届けられ

る。

・漂着物でモンスター制作 世界へ旅する絵本ポート
海みらい図書館
掲載日:2024年08月10日(土)発行

■北國新聞朝刊 広告紙面

■テレビ

●MROニュース 8/18(日)

「せかいの海のおはなし会」@石川県立図書館



●テレ金ニュース 8/22(木)

「漂着モンスターワークショップ」

@金沢港クルーズターミナル

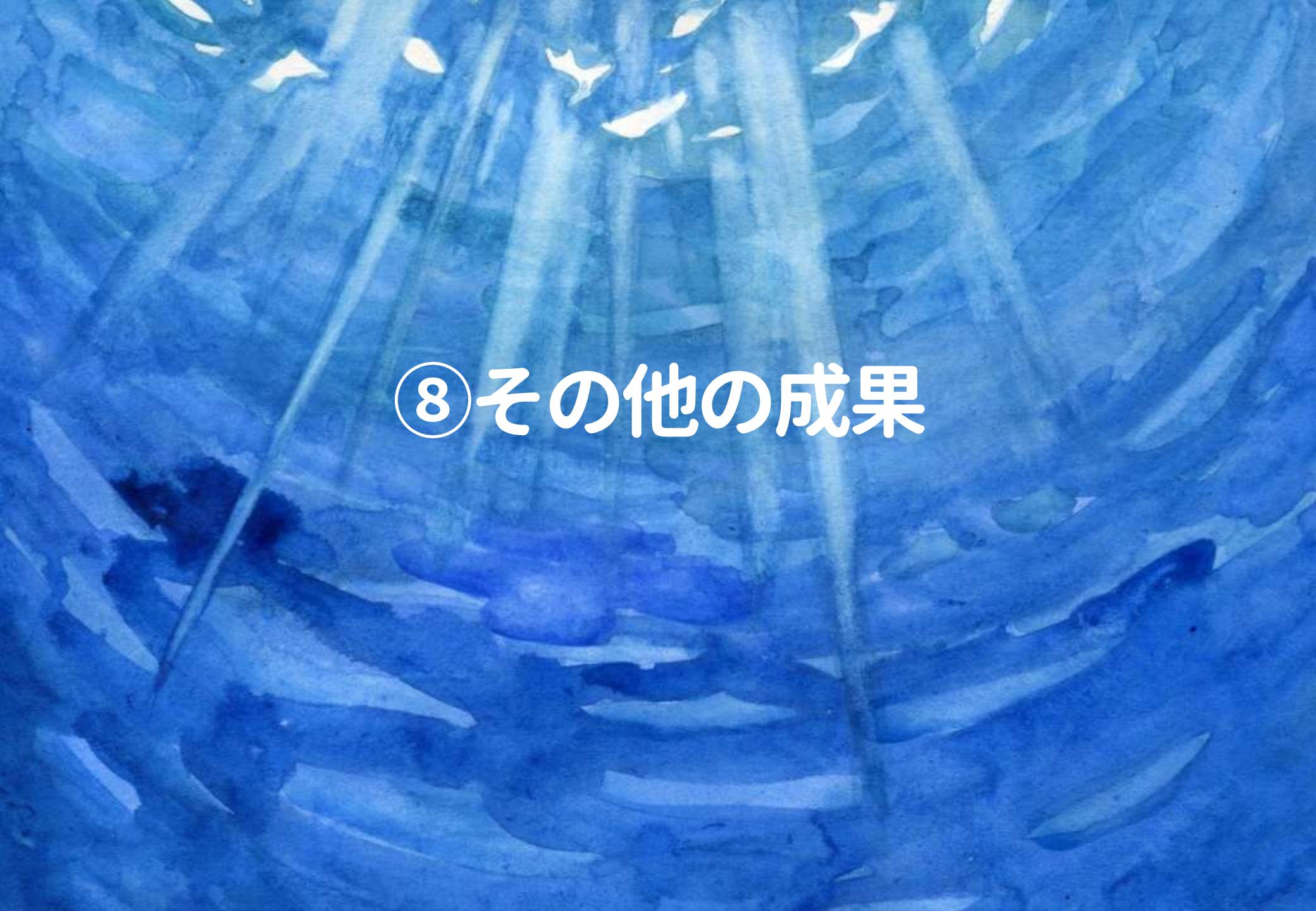


ニュース記事

► <https://news.ntv.co.jp/n/ktk/category/life/ktcace0d4519da408097e7e6f8b9084707>

放送同録

► <https://www.youtube.com/watch?v=s78JsUldeT8>



⑧その他の成果

■いしかわエコデザイン賞の受賞

2024いしかわエコデザイン賞 受賞。

持続可能な社会の実現に向けて生み出された、石川発の優れた「製品」「サービス・建築」「教育・社会活動」を発信することも目的とした表彰。

当プロジェクトは「教育・社会活動」部門にて“パブリシティ賞”を受賞しました。



第14回
いしかわエコデザイン賞 2024
教育・社会活動領域「パブリシティ賞」

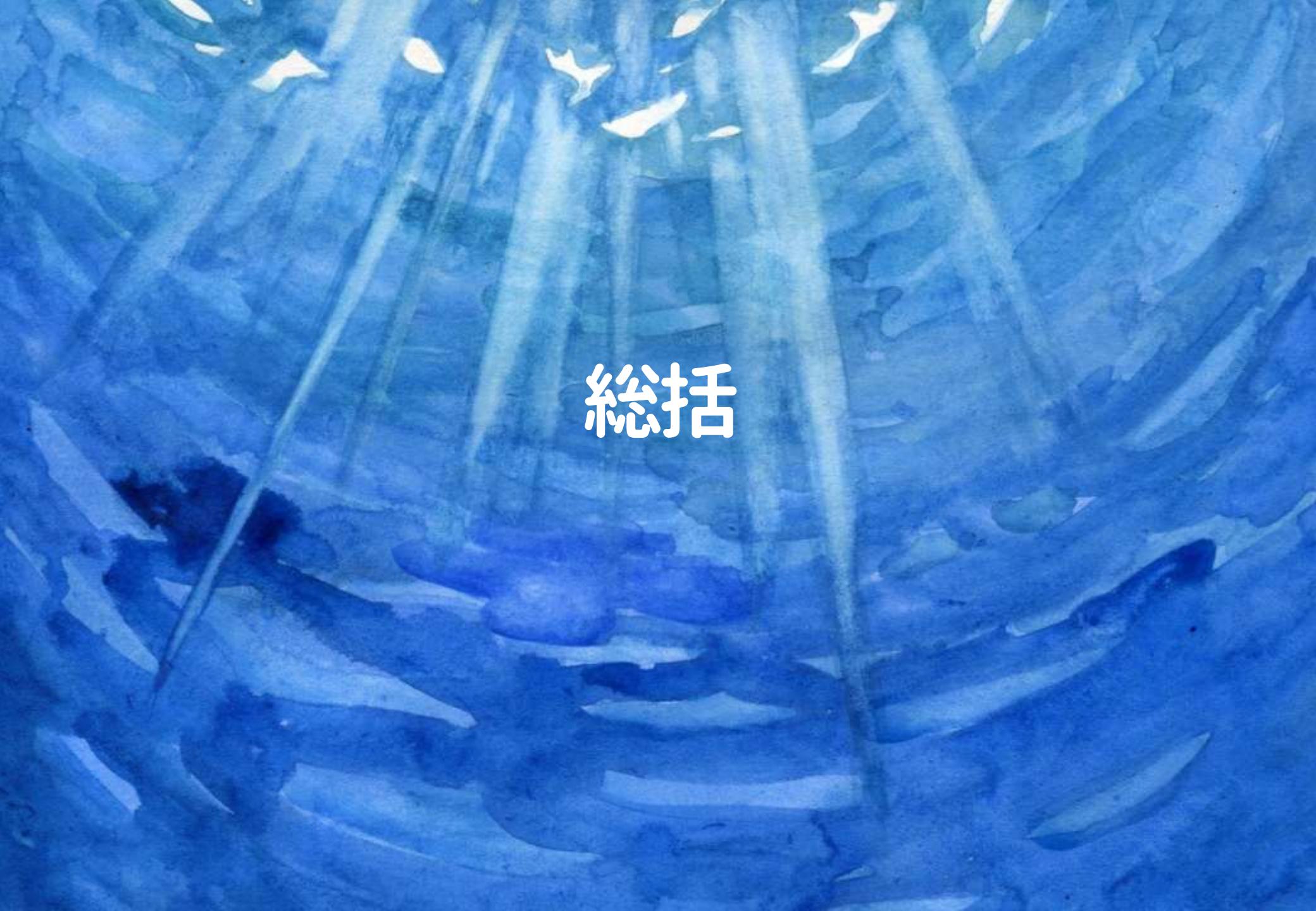
世界へ旅する絵本ポートプロジェクト
親と子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会（県内全域）

- 『絵本』を通じて、子どもたちの世界の海への興味と好奇心を高めながら、「世界の海＝自分たちの海」というグローバルな感覚を磨き、親子へ海を守るための自発的なアクションを促すプロジェクト。
- 絵本企画展示、絵本読み聞かせ、海岸の漂着物を用いた創作イベント、漂着モンスター作品募集＆絵本制作、制作絵本を世界へとどける「海外への絵本寄贈」の大きく5つの取り組みを実施

<審査委員コメント>

大変価値がありながら利用が減少傾向にある図書館や、印刷物を活用した親と子が一緒に楽しめる素晴らしい取組。何より夢や楽しみがあり想像力を掻き立ててくれる。





総括

■2024年度の活動を終えて

本プロジェクトは2024年度で3年目を迎え、これまでの実績や築き上げてきた関係性が実を結び、協力パートナーの輪が広がりました。その結果、より多くの方々とともに活動を展開することができました。

各コンテンツについても、過去の経験を活かして内容を見直し、より洗練されたプログラムを提供できたと感じています。

また、県内での広報活動を強化したこと、特に親子世代を中心にプロジェクトへの認知が確実に広がってきている実感があります。

「世界へ旅する絵本ボート」という企画を運営する中で、多くの参加者や関わった方々から大きな賛同を得ることができ、このプロジェクトが多くの人々に受け入れられていることを実感しています。だからこそ、今後もさらに成長の余地があり、より多くの人々に届けることができると強く感じています。

実際、ワークショップに参加された方々からは「県外でも開催してほしい」といった声が寄せられました。これを受け、今後は石川県内を中心に活動を展開しながら、県外や海外への展開についても並行して検討を進めています。

また、今年度の大きな成果の一つとして、県内企業から複数の協賛をいただけたことが挙げられます。まだ完全な自走には至っていませんが、私たちが掲げる課題や目的に共感し、具体的な支援をいただけたことは、プロジェクトにとって大きな一歩となりました。

2024年度の「ひょうちゃんモンスター」キャンペーンで得たつながりを力に変え、2025年度にはさらにプロジェクトを磨き上げ、自走に向けた取り組みを進めていきます。

今年度も温かいご支援とサポートをいただき、心より感謝申し上げます。今後も、このプロジェクトがより多くの人々の心に届くよう、丁寧に育てていきたいと考えています。

世界へ旅する絵本ポートプロジェクト

主催　： 親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会、北國新聞

共催　： 日本財団「海と日本プロジェクト」

後援　： 石川県教育委員会、金沢市教育委員会、白山市教育委員会、小松市教育委員会、加賀市教育委員会、
野々市市教育委員会、七尾市教育委員会、能美市教育委員会、かほく市教育委員会、輪島市教育委員会、
羽咋市教育委員会、珠洲市教育委員会、津幡町教育委員会、内灘町教育委員会、志賀町教育委員会、
中能登町教育委員会、能登町教育委員会、宝達志水町教育委員会、穴水町教育委員会、川北町教育委員会、
NHK金沢放送局、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお

協力　： 石川子ども文庫連絡会、石川県立図書館、金沢市立玉川こども図書館、金沢市立金沢海みらい図書館、
小松市立空とこども絵本館、学びの杜ののいち カレード、かほく市立中央図書館、七尾市立図書館